

明日の元気は、きょうのスポーツから みんなで体を動かし楽しもう～スポーツ振興の推進目標～

五鹿山マラソン2020が開催されました！

10月4日、五鹿山スキー場において、今年で第2回目となる「ゆうべつ五鹿山マラソン2020」(湧別町体育協会主催)が開催されました。新型コロナウイルス感染症対策として、今年は町民限定での開催となりましたが、89名の参加があり晴天にも恵まれ、大いに盛り上がる大会となりました。



小学生の部では、普段走ることのない坂道を、元気いっぱい走り切っていました。

中学生の部・高校生の部・一般の部は一斉にスタートし、五鹿山スキー場を周回する約2kmのコースを駆け上がりました。ゴールした選手は「登りは辛かったけど、諦めずに走り切りました」と爽やかな汗を流していました。

芸術・文化は未来を生きるヒント 創造力と豊かな心を育てよう～芸術・文化活動の推進目標～

令和2年度(第11回)子どもミュージカル体験事業開催中止のお知らせ

令和3年1月6日(水)～12日(火)に開催を予定しておりました子どもミュージカル体験事業につきまして、新型コロナウイルスの感染症の影響により、事業期間を通しての参加者児童・生徒の皆様の安全を確保することが難しいことから中止することといたしました。

参加を楽しみにしていた児童・生徒の皆様には大変申し訳ございませんが、感染リスクが高まる冬期間の事業であることから中止と判断いたしましたこと、ご理解願います。

少年は町の未来 夢に向かって力をつけよう～少年教育推進目標～

令和2年度子ども会百人一首教室及び第52回湧別町新春交歓カルタ大会の中止について

湧別町百人一首実行委員会(委員長 高橋欽一 他11名)は、令和3年1月17日(日)開催予定の、第52回湧別町新春交歓カルタ大会について、新型コロナウイルスへの感染拡大防止対策が困難であることから、中止といたします。

また、それに伴い百人一首教室も中止といたします。教室、大会を楽しみにしていた小中高生のみなさんには大変申しわけありませんがご理解願います。

少年は町の未来 夢に向かって力をつけよう～少年教育推進目標～

“休みの日、何して楽しもう？” 「湧ゆう湧くわく体験塾」が「パークゴルフ」を行いました！

10月17日、気持ちのよい秋晴れの中、今年の屋外活動を締めくくるパークゴルフ大会を行いました。

芭露パークゴルフ場を会場に、5人の塾生と担当者の6名が2チームに分かれて9ホールを回りました。結果は…まさかの！同点！！再度1ホールを回り、「チーム プリチー♡」（本間果歩・工藤結菜・安藤陸斗）が優勝しました。大会後は賞状とご褒美のおやつをもらい、和気あいあいのひと時を過ごしました。



体験塾では町内の小学校4～6年生を対象に、様々な体験活動を土曜日に毎月1～2回行っています。11月からは主に室内での体験（Xmasケーキとリースづくり）やスノーハイク・氷下釣りなど冬ならではの体験を予定しています。

年度の途中からでも参加できますので、希望される方は教育委員会社会教育課社会教育グループ（Tel5-3132）までご連絡下さい。

「11月エッセイ」社会教育委員さんのある一日 第121回

10月18日に、雄武町で開催されました遠軽紋別地区社会教育委員等研修会に参加してきました。

午前中は、札幌大谷大学の梶井祥子教授のご講演でした。梶井教授は、北海道社会教育委員の議長さんとして、今年の6月に北海道教育委員会に社会教育振興の在り方について答申されています。今後、地域の活性化のために社会教育の果たす役割が益々求められてくると感じました。

午後は、参加している遠軽紋別地区の社会教育委員さんと小グループで話し合いをしました。私の属した第3グループは7名、その顔ぶれは文化活動をしているリーダーの方、教育委員会事務局の職員、学校の教職員などでした。それぞれの市町村での活動報告やそれに対する質問、かかえている課題についての意見交流を行いました。少人数でしたので、全員がよくしゃべり活発な交流となりました。

なお、雄武町までの道中、乗り合わせた車内で教育委員会の職員の方々や宮澤社会教育委員長さんとのおしゃべりもとても楽しいものでした。この日は秋晴れの行楽日和でしたので行き帰りは秋の美しい風景を眺めながら、会場ではみっちりテーマに沿った研修と、充実した一日となりました。

湧別町社会教育委員 寺嶋 誠也

明日の元気は、きょうのスポーツから みんなで体を動かし楽しもう ～スポーツ振興の推進目標～

ちよいトレ★教室! ～No.18～運動指導職員 原 まほ 茉 欽

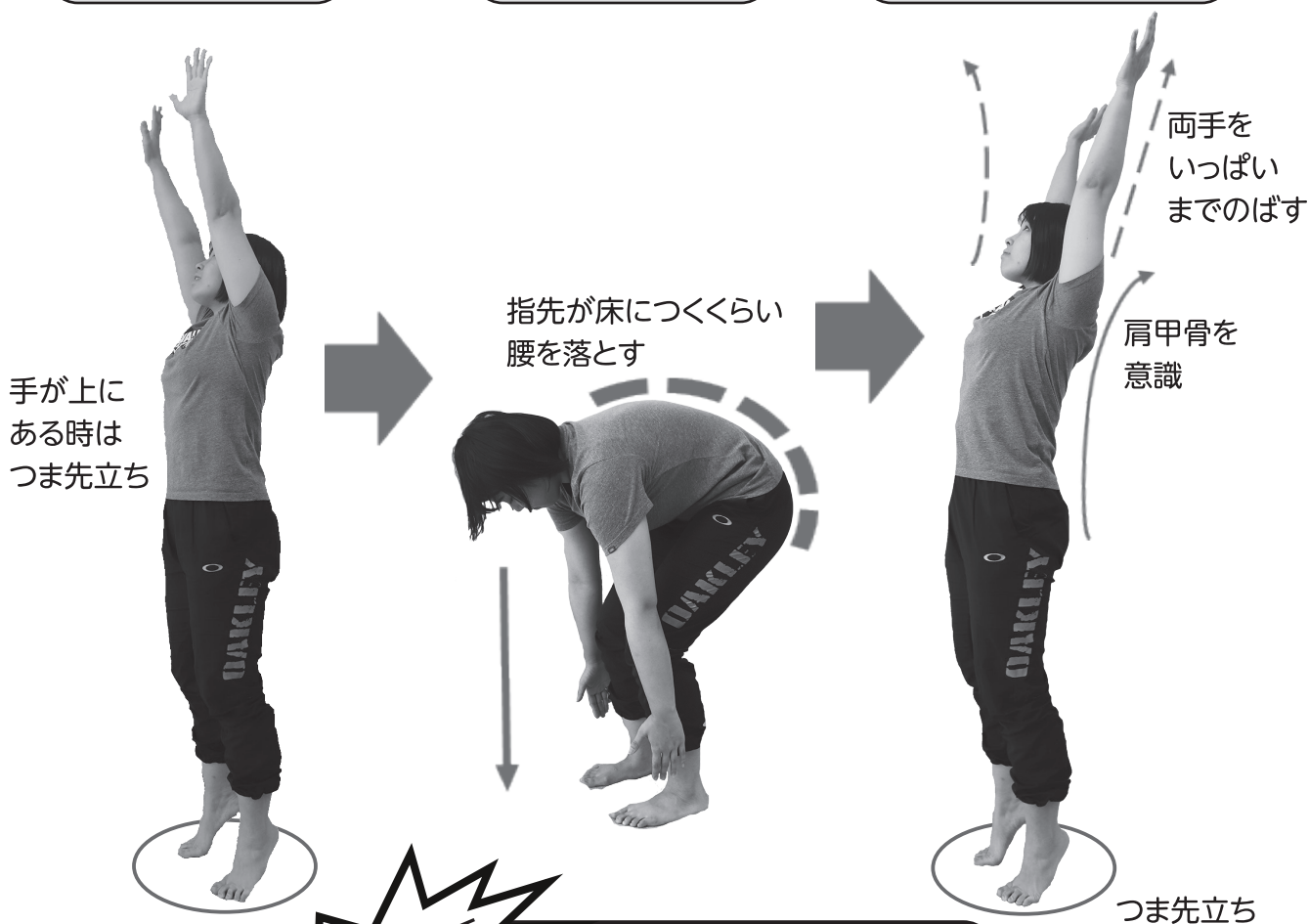
◎ちよいトレ 9歳から12歳「ゴールデンエイジ」の子どもむけ

◎投げる力をのばすトレーニング 10回×3セット
～上半身のエクササイズI～

①両手をあげて、
全身を上へのぼす

②背中を丸めて、
体をちぢめる

③全身をしっかり使って
のびあがる



TARGET 肩甲骨をうまく動かせるようになる

◎投げる動作は肩甲骨をやわらかく動かすことが重要です。
体の反動を使って肩甲骨の上下の動きを自然に身につけることができます。

手をふりあげた時にジャンプしてしまうと、意識が足にいってしまい効果が薄れます。ジャンプしないように気を付けましょう!



図書館は町民の憩いの場 みんなで学び楽しもう～図書館活動推進目標～

● 今月の読書・本についての名言・格言

世界の偉人や有名人たちは、本にまつわるステキな言葉をたくさん残しています。毎月その中から、読書のきっかけになれるように紹介していきます。

今月は、**ショーペンハウアー**（ドイツの哲学者）

「読書で生涯を過ごし、さまざまな本から知恵をくみとった人は、旅行案内書を幾冊も読んで、ある土地に精通した人のようなものである」

「幸福について」 光文社



● 湧別高校生が図書館の職場体験に

10月7日～9日の日程で湧別高校の生徒2名が職場体験に来館しました。

1日目は、読書週間の特別展示の準備や、閉架書庫の整理、本の装備など、主に図書館のバックヤードの仕事を体験してもらい、最終日には、おすすめ本の紹介文の作成にも、チャレンジしてくれました。

2日間の感想を聞くと、勝本晴之さんと原田勇希さんは、「図書館の仕事は、繊細で集中力が必要だと思いました」「司書は、手先が器用な人が向いている職業だと思います」と話していました。



minchi 絵本「にゅうしちゃん」原画展を行います



絵本作家 minchi（みんち）さんによる絵本「にゅうしちゃん」の原画展を開催します。

絵本「にゅうしちゃん」は、「歯」のこと、「歯みがき」の大切さがよくわかる絵本で、乳幼児の保護者さんたちに大変人気です。「第11回MOE絵本屋さん大賞」の入賞作品にもなりました。貴重な原画を間近で鑑賞できる機会となりますので、この機会にぜひ、ご来館ください。

なお、展示期間中は「にゅうしちゃん」以外にも、「ごみじゃない!」「いっさいはん」など魅力あふれる minchi（みんち）さんの絵本を紹介します。また、「歯」に関する他の絵本なども展示しますので、ご家族そろってご来館ください。

場 所：中湧別図書館

期 間：11月26日(木)～12月8日(火)

特別展示「図書館でハッピークリスマス！」を行います。

12月の図書館は、こどもから大人まで楽しめるクリスマスに関する本を、展示しています。

図書館の本を読んで、わくわく楽しいクリスマス気分を盛り上げましょう。



場 所：中湧別図書館

期 間：11月4日(水)～12月25日(金)

場 所：湧別図書館

期 間：12月1日(火)～12月25日(金)

12月の図書館休館日

1日(火曜日)、7日(月曜日)、14日(月曜日)、21日(月曜日)、28日(月曜日)

*年末年始の休館日 29日(火曜日)～1月4日(月曜日)

【開館時間】 10:00～18:00

【貸出冊数】 ひとり何冊でも借りられます。 【貸出期間】 2週間

【ホームページ】 <https://www.town.yubetsu.lg.jp/st/lib/>

【連絡先】 中湧別図書館 電話 2-3150 湧別図書館 電話 5-3122

lib-n@town.yubetsu.lg.jp

lib-y@town.yubetsu.lg.jp

埋蔵文化シリーズ 46
—町内の遺跡 4—

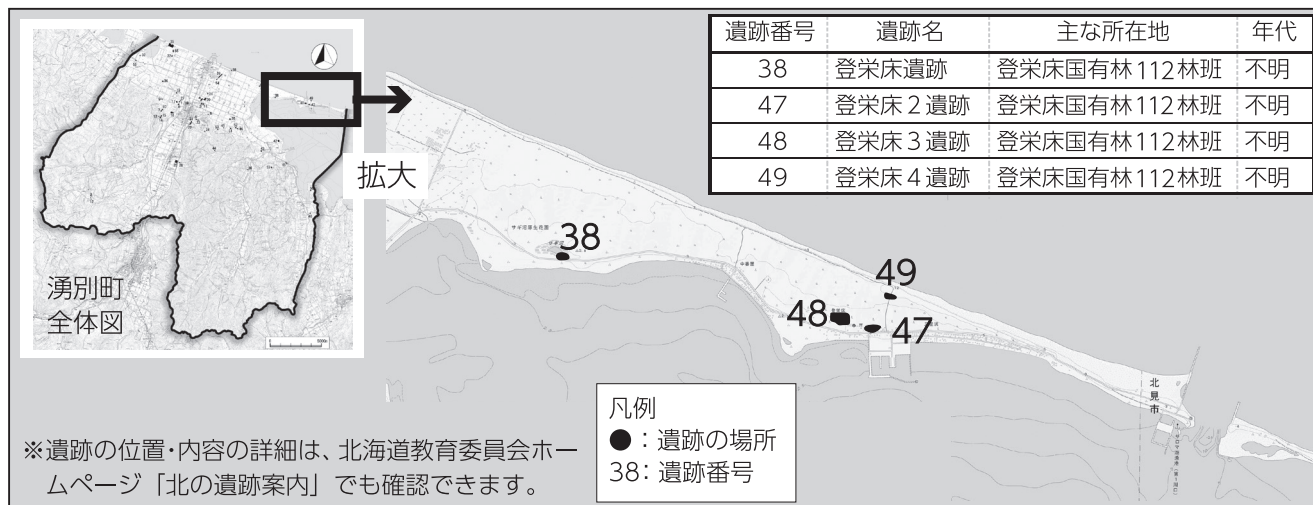
身近な場所に遺跡!? 【登栄床編】

博物館だより
—ふるさと館 JRY・郷土館—
【第130号】

湧別町にある 56 か所の遺跡から、登栄床にある遺跡をご紹介します。遺跡の場所、お住まいの近くや普段利用する道路の近くではないですか？

登栄床では遺跡が 4 か所で確認されています（下図）。遺跡の特徴は、未解明なことが多いことです。遺跡のデータベースを見ると、各遺跡で土器や石器が確認されたという記録があります。しかし、資料そのものが博物館に保管されていないため、残念ながら遺跡の年代などはわからないのが現状です。

登栄床 3 遺跡では、竪穴住居跡と考えられる方形の窪みが 8 か所程度確認できたという記録があります。方形の窪みという記録から、擦文文化（1,300 ～ 700 年前）の小集落があったと考えられます。今後発掘調査を行うことで、登栄床の開拓以前のくらしが明らかになる可能性は高そうです。



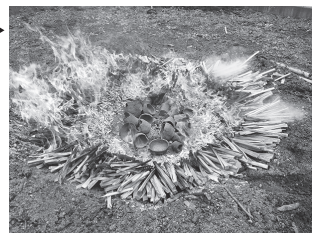
世界に一つだけ！自分が作った土器

博物館が行う遺跡の業務には「保護」を目的とした発掘等調査の他に、遺跡のことを知ってもらう「教育活動」もあります。近年の教育活動では、体験学習の一つとして「土器づくり」に力を入れています。

今年も学芸員が芭露学園や湧別高校で土器づくりの授業を行いました。みんな粘土には小さい頃から触れ親しんでいるはずですが、昔の人のように土器を作るとなると難しく悪戦苦闘していました。しかし、みんな最後には立派な作品を完成させました。昔の人の工夫や手先の器用さが意外とすごいものだったと感じてもらえたと思います。



← 芭露学園 8 年生が作った擦文土器。1,000 年前の人の気持ち、感じたかな？



→ 五鹿山で実施した土器の野焼き。焼くことで水が漏れない器へ変化します。

湧別町生涯学習情報「湧く湧く」2020年11月号 No.130

編集発行…湧別町教育委員会 社会教育課 〒099-6404 北海道紋別郡湧別町栄町 219-1
<https://www.town.yubetsu.lg.jp/>

印刷…北湧印刷（湧別町緑町）発行…令和 2 年 11 月 25 日

記事へのお問い合わせは下記へ

* 社会教育課社会教育グループ 電話：01586-5-3132 FAX：01586-5-3710
メール：shakyo@town.yubetsu.lg.jp

* 湧別図書館 電話：01586-5-3122 FAX：01586-5-3256

* 中湧別図書館 電話：01586-2-3150 FAX：01586-2-3190

* ふるさと館 J R Y 電話：01586-2-3000 FAX：01586-2-3200

※湧く湧くで紹介する事業の予定は、今後の社会情勢によっては、中止や延期となる場合もあります。ご了承ください。